

**WAC 農園**

落花生の花がたくさん たくさん咲きました。スクスク!!



落花生が育ってきて、可愛らしい花を咲かせています。おいしい実をたくさんつけて欲しいと願いながら世話をしています。

無農薬の雑草取りのシーズン 大きくな〜れ さつまいもたち!



土の中でさつまいもが大きく育つように、雑草を取って、つるを返してつるが根を張らないようにしています。

桑栽培の天敵雑草です! しだれ桑、はやてさかり育っています!



**WAC アグリカフェ**


水素水を飲んで元気になろう! ボトルは購入!水素水は無料デ〜ス!



「水素水販売キャンペーン」を実施して6か月になります。今までボトルの種類が6種類あって今は3種類になりました。今は、ゴールド、シルバー、ピンクの3種類。サンプルは、カフェとワックプラスにおいてあります。

**もったいないファクトリー**

地道に片付け、仕分け作業! 地道に毎日コツコツと…!



寄付していただいた沢山のものを、食器、かばんというように仕分けて、一つずつ丁寧に包んでいます。地道ですが大事な作業です。


生活介護 V i V i 生活介護

10月ファサードは「実りの秋・なつかしい風景」 案山子と垂れる稲穂群デス!



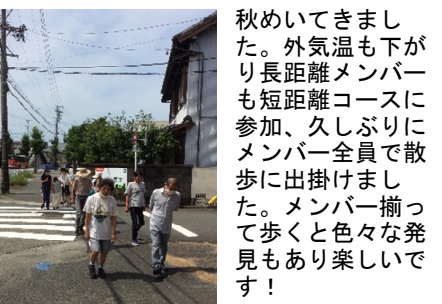
今回のファサードのテーマは「実りの秋、なつかしの風景」です。最近目にするのがなくなった案山子が秋の実りを見守り活躍しています。「あ、赤とんぼだ!!」

みんなで狙おう! 一枚のはがき上位入賞へ!



第12回「一枚のはがき」アートコンテストに向けメンバー全員参加。昨年に続き個性を発揮して入賞目指します。今現在、作品づくりの真最中でみんな楽しく取り組んでいます。


秋の日の午前! みんなで歩く散歩ウォーキング!!



秋めいてきました。外気温も下がり長距離メンバーも短距離コースに参加、久しぶりにメンバー全員で散歩に出掛けました。メンバー揃って歩く色々な発見もあり楽しいです!

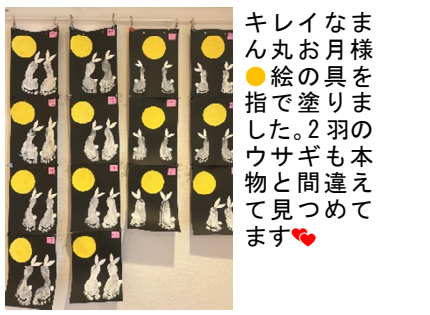
おひさまこども保育園 企業主導型保育

秋ですね。トトロといっしょにみつけた いろいろあるよ! どんぐり拾い!




もうすっかり秋ですね。トトロの様に楽しみな、どんぐり拾い。入れる袋は穴が開いていないか要注意!!

中秋の名月!まん丸お月様! ウサギさんもうっとり眺めます!



キレイなまん丸お月様 ●絵の具を指で塗りました。2羽のウサギも本物と間違えて見つめます♡

夏祭りでの太鼓の演奏! 緊張しても楽しかった。大満足!!



夏祭りでの太鼓の演奏披露。お父さんお母さんが見ている緊張したけれど、練習の成果もあって大成功だったよ!

さりげなく植生回復を進める 34年の取り組み。 国指定天然記念物になった葦毛湿原へ。 目から鱗の自然散策。台風の大風も心地良し!!



3年ぶりの交響楽団・生演奏を皆で。 名古屋フィルハーモニーの福祉コンサート “夢いっぱいの特等席” に行ってきました♪



台風の到来の真ただ中、大風と小雨の狭間を掻い潜り、晴れと曇の数時間、かねてから計画していた、葦毛湿原散策レクへ繰り出しました。葦毛湿原は、地元育ちならば、小中学校の遠足で、一度は、足を踏み入れている場所。以前は、県の指定でしたが、昨年、令和3年10月11日より、国指定天然記念物、となりました。すごいですね。そんなすごい場所ですが、実は、今に至るまでには、ただならぬ苦労があったとのこと。40年前の湿原は、植物や昆虫の多い里山として生物の多様性が保たれていたのですが、その後、森林化が進み、絶滅した生物も出てきてしまったそうです。そのため、教育委員会などが継続して調査を実施し、34年に渡る植生回復作業を進めて、今に至ります。湿原では、勝手に植物を持ち出すこともいけないし、本来無い植物を持ち込むこともいけないそうです。生物多様性の保全とは、常に変化し続ける環境下で行われるものであり、また地上では絶滅した植物であっても、地下にはその種子が残っており、復活させることもでき、実践されている、とか。これまたすごい話です。そんなことを考えつつ、散策。よく見れば見るほど、いろんな植物や花が咲いていることがわかります。中でもシラタマホシクサという、無数の白い蜜が舞っているような丸い小さな白い花の群生は、なんともいえ、きれいで、なかなか見ることが無い光景でした。最後は、出口近くの湖の傍らにあるベンチで一休憩。台風の大風も心地よく、自然の中で、頭を空っぽにできる不可思議な場所でした。帰りは、近場のファミレスで、手軽に伊ランチを。ほんの数時間のミニレクでしたが、いい経験になりました。

9月12日、3年ぶりの開催となった、名古屋フィルハーモニー交響楽団による、“夢いっぱいの特等席”福祉コンサートへ行って来ました。会場は、例年通り、ライブポートとははコンサートホール。新型コロナ禍下ということもあって、会場はかなり距離を置いての座席設定。空いていて静かでしたが、逆に、とても落ち着いて集中できる環境でもありました。今回の指揮者は、松本宏康さんという方で、まだ若くて、喋りが、とてもユニークで元気なお兄さんでしたが、なんと、M-1グランプリという日本一の若手漫才師を競う大会に出演した経歴の持ち主。とはいえ、指揮ぶりも、とても丁寧で、好感が持てるものでした。また、今回の演奏は、こちらもとても丁寧で、小粒ながら、とてもまとまった内容で感心させられました。曲目は、皆さんご存知の歌劇やバレエ、映画の主題歌、民謡の他、打楽器や管楽器など、各々の楽器の持ち味が生かされた選曲もあり、解説も解りやすく、新鮮でした。最後は、アンコール曲のヨハン・シュトラウス1世・ラデツキー行進曲を、皆の大きな手拍子で締めくくり。いっしょに行った皆、かなり充実し、楽しかったようです。個人的にも、久しぶりに、しっかり音に耳を傾けることができた、貴重なひと時でした♪


↓グループホーム愛saku ラインアップ 写真左から①みんなの郷②東田の郷③三ノ輪の郷④牛川の郷⑤宮本乃郷



●自立へのステップ 「自立支援ホーム」単身、シェアホーム、シェルターも運営

クラブハウスWANATH いつもドアは開いています!! 豊橋市地域活動支援センター

意外なめっけもの。起源は平安時代に遡る、人力の渡し船“牛川の渡し”!?



クラブハウス4つの権利

- 誰でも来ることができる
- いつでも帰ってくるることができる
- 誰からも必要とされる人間関係を築くことができる
- 誰からも必要とされる役割がある

通り雨の隙間に、ひとつ走り、渡し船乗り場へ向かいました。こちらは、“牛川の渡し”という名の渡し船。豊川の兩岸を結ぶ渡し船として、毎日、無料で運行されてます。昭和7年から豊橋市の運営となったそうですが、起源は、平安の時代からあったとか。長い竹竿で川底を押して進む人力の渡し船は、愛知県下でも唯一とか。この日は、嵐前の様相で、到着直前に大雨に降られましたが、無事運行して頂けました。風が強いので、かえって早い走行で、ほぼ自動走行状態。上空に張ったワイヤーロープに滑車をつけ、船と結び、川の流れを利用して、滑らせます。その日、運行できるか否かは、遥か真正面に見えるのがった山の姿が見えるか否かが目安で、くっきり見えれば、大丈夫、とのこと。この日も、川の水量は増えて流れも早かったものの、山はくっきり見えました。メンバー3名に新人スタッフさんも付き合ってもらって、計5名、無事乗船し、戻って来れました。風流ですね。

